

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数(144人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均より低く、大阪府平均と同じである。平均正答数の全体的な分布は、国と比べて上位層が少ない。

平均正答率(本校 72/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均より低く、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布は、国、府と比べて、上位層、中上位層はやや少なく、中下位層はやや多い。

平均正答率(本校 56/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことにやや課題がある。 1 学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する (59.6/69.2)	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることにやや課題がある。 5イ ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(もちはもち屋) (78.7/83.6) ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことにやや課題がある。 7(1) 漢字を書く(参加 <u>たい</u> しょう) (40.4/42.0) 7(5) 漢字を書く(箱が <u>お</u> いてあります) (59.6/76.8) ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは概ねできている。 7(3) 漢字を読む(申し込み <u>期</u> 限) (94.3/94.5) 7(6) 漢字を読む(<u>指</u> 示) (95.0/94.5)
【書くこと】 ○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことは概ねできている。 2一 お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する (80.9/79.7)	
【読むこと】 ○俳句の情景を捉えることにやや課題がある。 4二 グループの話し合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選択する (54.6/57.0)	

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○目的や意図に応じ、引用して書くことは全国平均を上回っているが、やや課題がある。 2二 【友だちの考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する (74.5/70.9) ○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。 2三 「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く (26.2/33.0)	【読むこと】 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることは、全国平均を上回っているが、やや課題がある。 3一 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]にあてはまる言葉として適切なものを選択する (79.4/75.9) ○物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。 3三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く (32.6/43.7)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	46.5	60.5	○	14.0
国語の勉強は大切だと思いますか	84.7	91.2	◇	6.5
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.3	82.2		1.1
読書は好きですか	71.6	74.3		2.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.3	87.9	○	13.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	47.9	68.0	○	20.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	41.0	63.4	○	22.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	56.2	74.8	○	18.6
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	63.2	77.2	○	14.0
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	80.5	86.6	◇	6.1
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	65.2	66.1		0.9

○「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合が低く、全国と比べて低いことは課題である。

○国語の授業で、自分の考えや意見を伝えたり表現したりすることに関して、苦手を感じている児童が全国に比べて多く、課題である。

○国語A・Bともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の各領域において、平均正答率では全国とほぼ同じか、下回っている。

○特に、「話すこと・聞くこと」は国語Aでは9.6ポイント、「読むこと」は国語Bでは3.8ポイント、全国を下回っており、学習内容が定着していない。

○問題文が長くなると、意図がつかめなかったり、途中であきらめてしまったりするなど、無解答が増える。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答率は、全国平均、大阪府平均とほぼ同じである。平均正答数の全体的な分布は、国、府と比べて、上位層はやや多く、中上位層は少ない。

平均正答率(本校 78/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- 平均正答率は、全国平均、大阪府平均とほぼ同じである。平均正答数の分布は、国、府とくらべて中上位層が少なく、中下位層が多い。

平均正答率(本校 45/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○1より小さい小数をかける乗法の問題を理解し、数量の関係を数直線に表すことにやや課題がある 1(2) 買ったリボンの長さと、1mあたりのリボンの値段と代金がそれぞれ数直線上のどこにあてはまるかを選ぶ。(63.8/69.9) ○整数の乗法の計算をすることが概ねできる。 2(1) 125×52 を計算する(92.9/85.2) ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることが概ねできる。 2(3) $6 + 0$, 5×2 を計算する。(82.3/66.6)	【量と測定】 ○任意単位による測定について理解することにやや課題がある 4 重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。(63.8/70.7) ○正五角形は五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解することが概ねできる。 6 円をつかって正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く(85.8/75.5) ○資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることにやや課題がある。 9(2) 二次元表の合計欄に入る数を書く。(51.1/62.8)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを図に表現することは概ねできている。 1(2) 示された考えを基に、 $54 - 45$ の場合で残る部分を図に表す。(81.6/81.8) ○問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、その答えを記述することに課題がある。 1(3) 2けたのひき算の答えを求めることができる。(33.3/38.6) ○直線の数とその間の数の関係に着目した、示された方法を問題場面に適用することに課題がある。 2(2) 13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点か書く。(23.4/27.4) 【量と測定】 ○飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することにやや課題がある。 3(1) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ。(59.6/67.9)	○仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均のもとめかたを記述することに課題がある。 3(2) 仮の平均の考えを利用して、測定値の平均を求める。(27.7/26.1) 【図形】 ○身近な物に置き換えた規準量と割合を基に比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。 5(2) 与えられた情報から、規準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。(12.1/13.2) 【数量関係】 ○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことに課題がある。 4(2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持って来た人数の割合を表しているグラフを選ぶ。(25.5/29.3)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	67.4	65.2		2.2
算数の勉強は大切だと思いますか	89.6	90.7		1.1
算数の授業の内容はよく分かりますか	83.4	81.1		2.3
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.3	74.2		0.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	76.4	79.4		3.0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	63.2	65.3		2.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.7	87.7	◇	5.0
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.7	79.8		4.1
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	79.1	80.8		1.7
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	77.1	83.2	◇	6.1
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか	65.3	68.8		3.5
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	86.8	84.6		2.2
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	58.3	53.8		4.5

○授業の内容がよく分かると答えている児童の割合が全国に比べて多い。

○基礎基本の計算問題の正答率は、全国に比べて非常に高い。

○問題文が長くなると、意図がつかめなかったり、途中であきらめてしまったりするなど、無解答が増える。

○記述式の問題の正答率が低く、答えの求め方や理由を言葉や式で説明することに課題がある。

○ノートに解き方や考え方を分かりやすく書く工夫をしないで、受動的なものになっている。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(たとえば, 1. 当てはまる 2. どちらかと言えば当てはまる 3. どちらかと言えば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては, 10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	○社会貢献への関心が低い ○規範意識が低い ○家族としたスマホに関する約束が守れていない ○地域スポーツへの参加が多い ○自尊感情が低い	○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか <u><13.2/35.4></u> ○学校のきまりを守っていますか <u><69.5/92.6></u> ○携帯電話やスマートフォンの使い方について, 家の人と約束したことを守っていますか。 <u><38.2/48.7></u> ○地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり, 一緒に遊んだりすることがありますか。 <u><50.7/41.1></u> ○自分にはよいところがあると思いますか。 <u><51.4/77.9></u>
【家庭学習の様子】	○学習の計画性が乏しい ○予習・復習の習慣は十分身につけているとはいえない	○家で, 自分で計画を立てて勉強をしていますか。 <u><52.1/64.5></u> ○家で, 学校の授業の予習をしていますか <u><21.5/41.0></u> ○家で, 学校の授業の復習をしていますか <u><27.0/53.8></u>
【学校での学習の様子】	○自分の考えを説明したり文章にすることが苦手である ○総合的な学習の時間では課題解決や発表などの学習活動に取り組んでいると考える児童の割合が全国より低い ○道徳は大阪府に比べ, 積極的に取り組んでいる	○学校の授業などで, 自分の考えを他の人に説明したり, 文章に書いたりすることは難しいと思いますか <u><64.6/53.7></u> ○「総合的な学習の時間」では, 自分で課題を立てて情報を集め整理して, 調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <u><43.1/69.8></u> ○5年までに受けた道徳の時間では, 自分の考えを深めたり, 学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。 <u><78.4/78.5></u> 対府比<78.4/72.4>

本校の取り組み

◎これまでの取り組み

【学習について】

① 道德の授業研究

「考える道德」を研究主題とし、研究授業や校内研修を実施する。道德のねらいにより迫る指導方法や評価の在り方について研究する。

② 朝学習

始業前の10分間、読書やドリム、算数の反復練習に取り組む。

③ TT、少人数・習熟度別授業

算数科において、学習内容に応じて少人数・習熟度別授業を実施する。教師一人に対しての児童数を減らすことで、よりきめ細やかな指導を行う。

④ 校内たしかめテスト

4月と11月に3年生以上でたしかめテストを行い、既習事項の定着を確認する。

⑤ 授業規律の確立「日根野小学校の合言葉」

- ・メロディーが 鳴ったら急いで 準備しよう
- ・あいさつで 授業と休けい きりかえよう
- ・朝学は 一人で集中 最後まで
- ・返事は「はい」「です・ます」使って ていねいに
- ・お話は 顔見て聞こう 最後まで

【生活について】

① 家庭学習強化週間「放課後の過ごし方」

学期の初めに、家庭での過ごし方の目標を立て、保護者の方と一緒に取り組んでもらう。

② セカンドステップ

1～3年生でソーシャルスキル向上のためのセカンドステップに取り組み、相互理解や問題解決、感情をコントロールする力を養う。

③ 無言清掃

15分間黙って清掃することで、自ら考え協力しながら最後までがんばる態度を身につける。

◎これからの取り組み

【学習について】

<国語>

- ・低学年から感想を書いたり文章を要約したりするなどの「書く」活動を多く取り入れ、語彙力を獲得させるとともに、自分の言葉で表現することを大切にする。
- ・漢字の学習では、各学年の配当漢字だけでなく、前年度までの漢字についても反復練習することで、確実な定着を図る。
- ・発展・応用問題にも出あわせ、習得した知識や技能を用いて、思考・探究することで活用力を高める。

<算数>

- ・算数の基礎基本の定着のため、朝学習の計算などの反復学習を今後も継続して行う。
- ・低学年から問題解決の機会を多く設け、自分の考えを図や式、言葉で表現する活動を充実させる。
- ・発展・応用問題にも出あわせ、習得した知識や技能を用いて、思考・探究することで活用力を高める。

【生活について】

- ・成功体験を積み重ね、その成長を褒めることにより、自尊感情を高めていく。
- ・自分が住んでいる地域に着目した活動やボランティア活動を通して、社会のために自分にできることを考え行動しようとする態度を育てる。